



おおきくぞだってね!

5月23日(月)に、中茶安別小中学校林の通称「るるんフオレスト」(標茶町中茶安別)で、「春の学校林活動」が開催されました。

昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染症対策のため、全員マスクを着用し、活動を実施しました。(全校児童・生徒25名、保護者・先生・関係機関など計50名程度参加)

まず始めに、標茶町森林組合が「植樹」、当センターが植栽木を野生生物(エゾシカ・ユキウサギ等)の食害から保護するため「保護管(ツリシエルター)の被覆」について説明したあと、3班に分かれて植樹、保護管の被覆を行いました。

児童・生徒は各々にスコップと苗木を持ち「エゾヤマザクラ」「カラマツ」の2種・合計100本を「おおきくなあれ!」と元氣いっぱい楽しそうに植栽している姿を見ることができました。また、保護管の被覆については、上級生が下級生に被覆方法等を上手に教えて、綺麗に保護管の被覆まで終わらせることが出来ま



▽植樹の様子



▽保護管設置の様子

した。当日は、マスクをしていることもあり、少し息苦しい中での活動になりましたが、健やかな生徒・児童達の活躍により無事に活動を終えることが出来ました。今回の活動で植樹した苗木がこれから日々を重ね立派に成長し、中茶安別小中学校の伝統がこれからも続いていくことを願っています。

川湯でイソツツジ群落を満喫!

6月14日(火)に、川湯園地にある川湯ビジターセンター、つつじヶ原自然探勝路及び硫黄山(弟子屈町川湯)で、第1回「雷別ドングリ倶楽部」を会員20名の参加で初夏の快晴の下、開催しました。

この会は、雷別国有林をフィール

ドとして、当センターと協働で森林再生(自然再生)に取り組んでいるボランティアの方々との集まりですが、植樹活動と共に地域の森林に関する名所を巡り、見識を深めることも活動計画に盛り込まれていることから今回の自然散策が実施されました。

参加者は、まず阿寒摩周国立公園のフィールドの成り立ちや自然環境などをわかりやすく解説している施設(環境省所管)「川湯ビジターセンター」を見学しました。

ビジターセンター長から、阿寒湖・摩周湖等は、噴火の後のカルデラと呼ばれる噴石後の凹地に出来た湖であることや川湯園地の見所、観察できる動植物のお話しが15分ほどあり、その後展示物を見て、参加者は、

「こんな素晴らしい施設があったんですね、見れてよかったです」
「阿寒摩周国立公園のことがよくわかりまし



▽解説を聞く参加者の様子

た」等の声があり満足されていた。また、

次に、今回のメインである、つじヶ原自然探勝路の散策です。

今の時期、クリームがかかった白色のイソツツジ群落がほぼ満開となり、参加者を迎えてくれました。噴火による、強酸性の土壌がこの群落を維持し、他の樹木や草本を寄せつけないようです。一面に広がる光景を見て、参加者からは「とてもきれいでよかった」「余り見たことがなく感動した」「白いけなげな花がかわいい」等のコメントがありました。



▽可憐なかわいいイソツツジ

最後に、硫黄の匂いが一段と強くなり、白煙も昇る「硫黄山」を見学し、硫黄山名物の「温泉玉子」をおみやげとして購入したりしていました。皆さん満足された表情で硫黄山を後にし、帰路につきましました。

雷別で若者が植樹活動を実施!

6月26日(日)に、雷別地区自然

再生事業地(標茶町雷別国有林)で、「若者Yo!雷別へ植樹に行こうYo!」を晴天の下開催しました。

この場所は、高齢級のトドマツ人工林が気象害によって立ち枯れし、笹地となった箇所が広がっているフィールドで、平成19年頃から当センターで、地域住民の方々等のご協力により森林再生(自然再生)に取り組んでいる箇所です。

今回の活動には、若手の若い方と森林ボランティアの方合わせて9名の参加があり、ミズナラ・ヤチダモ・ハルニレ・カツラ計60本の植樹と共に、植栽木を野生生物の食害から守るため、保護管(ツリーシェルター)の被覆を行いました。

参加者は、当センターから作業内容等の説明を受け、青空が広がる炎天下のもと、鍬やスコップを手に植樹に取り掛かりました。準備した苗木は1時間程で植え終わりましたが、笹の根が密集して、植穴を掘るのに苦労された方が多かったようです。また、非常に暑かったので大変だったようでした。



▽植樹の様子



▽保護管設置の様子

昼食をとり、午後から保護管の組立てと設置を行いました。暑かったので作業は早めに終了しました。若い参加者は、植樹の経験も初めて「貴重な経験をさせてもらって良かった、機会があればまた参加したい」「シカは、木の種類を問わず食べている印象があります、その中でも特に好む種類があるのは勉強になった」等の感想がありました。若い方も、森林のこと、環境のことに関心がある人がかなりいることを実感しました。

最後に、当センター所長から、「植樹は、地球温暖化防止やSDGsの観点から大変意義のある活動です。皆様方は大きな貢献をされています」等の挨拶があり、皆さん充実した表情で帰路につきましました。



国民の森林・国有林

林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター

〒085-0825 北海道釧路市千歳町6番11号

【IP】050-3160-5787 【TEL】0154-44-0533 【FAX】0154-41-7305

【E-mail】h_kushiro_f@maff.go.jp

【URL】https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html



当センターは、根釧西部森林管理署が管理経営する国有林を主な活動区域として、フィールドの特徴を踏まえて、教育関係者、ボランティア団体・地域住民、企業、行政機関等の活動支援や技術指導を行っています。